



2013年度 ポニーベースボール協会 第39回 全日本選手権大会

特記規則

1. 試合の開始

守備側チームの各プレーヤーが、それぞれの守備位置につき、攻撃側チームの第一打者が、バッターボックス内に位置したとき、球審はプレイを宣告し、試合が開始される。

2. 投手イニング表(忘れたとき・紛失したとき・サインなし)

メンバー表交換時にイニング表が無く、また、相手監督、球審のサインがなく、確認できない場合は、メンバー表に記載されている選手全員が、前試合で7回の投球をしたものとみなす。

3. 雨天などでのコールドゲーム

- A. 5回終了時点で表か裏のチームどちらかがリードしている状況で試合がコールド宣言された時、また、5回表終了時点で裏のチームがリードしている状況で試合がコールド宣言された時は、正式試合とする。
- B. 5回前に、または5回終了時点で同点のままコールドとなった時は、サスペンディッド(保留)となり、修了した時点そのままの状態から、後日継続試合をおこなう。
- C. 5回を終了し、試合は成立しているが、6回以上に入った状況でのコールドは、下記の通り。

	1	2	3	4	5	6	7	計
A	0	0	0	0	0	4×		
B	0	0	0	0	2			

a. 6回表攻撃中(攻撃が終了していない)の場合はサスペンディッドとし、後日継続試合。

	1	2	3	4	5	6	7	計
A	0	0	0	0	0	4		
B	0	0	0	0	2	×		

b. 6回表の攻撃が終了して、裏の攻撃が始まる前はサスペンディッドとし、後日継続試合。

	1	2	3	4	5	6	7	計
A	0	0	0	0	0	4		
B	0	0	0	0	2	0×		

c. 6回表の攻撃が終了して、裏の攻撃途中の場合はサスペンディッドとし、後日継続試合。

	1	2	3	4	5	6	7	計
A	0	0	0	0	0	0		0
B	0	0	0	0	2			2

d. 6回表の攻撃が終了して、裏のチームが勝っている場合は、コールドゲーム(成立試合)。